学校だより
練馬区立小中一貫教育校
大泉桜学園
第138号
令和５年７月５日
発行者　池田 和彦
http://www.sakuragakuen.nerima-tky.ed.jp/

「大泉桜の里」

副校長　坂　本　　司

先月の６月９日・１０日の２日間で実施しました今年度最初の学校公開におきましては、多くの保護者、地域の皆様にご来校いただき、授業の様子とともに、「命の教育ウィーク」の一環とした道徳授業地区公開講座の道徳授業並びに石神井消防署の方を講師にお迎えした講演会をご参観いただき、大変ありがとうございました。

学校公開の初日には、練馬区の農業指導者の方のご協力をいただき、５学年の児童が裸足になって田に入り、自らの手で田植えをしました。本校では、小中一貫教育校になる以前から稲作の学習に取り組み、現在のように「大泉桜の里」として規模を大きく整備してからは、今年度で１３回目の稲作となりました。田植えを終えた「大泉桜の里」では、この１か月ほどで苗の背丈は２倍以上にもなり、１日の成長はわずかであっても、確かに成長していく生命の力強さに感動しています。また、校舎がつくる日陰による日照や水温の違いで、目視で分かるほど苗の背丈に違いが生じ、わずかなことにも影響を受けるその繊細さにも驚かされています。

田植え後の苗の成長で大切なことは、苗の背の高さとともに、１株の茎の数が増えることだそうです。株が大きくなることで、夏の強く厳しい日差しを受けながらも養分を着実に蓄え、これから訪れるかもしれない台風の強い風雨にも粘り強く耐え、秋の豊かな実りへとつながっていくそうです。その時々に成長すべき要素があり、かつバランスが大切であることが分かります。

また、「米」という字の由来は、米粒が四方に飛び散ったところを表した象形文字とされていますが、字を分解すると「八十八」となり、米づくりには八十八もの手間がかかるという意味があるとも言われています。実際に収穫までには多くの作業があり、人が労力や技能を十分に費やし、時間をかけ、丹念に育てること、いわゆる「手間隙をかける」ことが重要であることも、再認識させられます。そして、このことは稲作をはじめとする作物に限らず、人を育てるということにも同様に言えることです。小中一貫教育校の本校では、入学して義務教育が始まったばかりの１学年から、義務教育の最終学年として自己の希望する進路に向けて新たな歩みを踏み出そうとしている９学年までの児童生徒が在籍し、その発達段階に応じて身に付けるべきことがそれぞれにあります。子供たちには、大泉桜学園での９年間で、雨や風にも負けない太い幹と柔軟で広い枝葉を付け、花を咲かせ、大きく実ってほしいという願いと、そのために大泉桜学園の教職員が一丸となって取り組んでいこうという決意を、太陽に向かって伸び、風にそよぐ「大泉桜の里」の苗を見ながら、今一度強くしました。

第５学年　大泉桜の里　レッツ！トライ！さくら米作りがスタート

第５学年主任　下川　洋平

５年生は、命の教育の一環として、総合的な学習の時間に「レッツ・トライ・さくら米」と題し、米作りについての学習に取り組んでいます。５月には田起こし、６月には代かき、田植えと一生懸命、作業に取り組むことができました。

田起こしでは、よい土ができるようにと、肥料となるレンゲソウを細かく刻んだり、土を耕したりと分担をして作業に取り組みました。田起こしをしたおかげでふかふかの土になりました。その後、田んぼに水を張り、とんぼやレーキで土を細かく砕きながら丁寧にかき混ぜて、土の表面を平らにならす代かきの作業を行いました。最初は田んぼに入ることを躊躇していた子供たちもいましたが、みんなで参加し、田植えの準備をすることができました。また、あぜ作りにも挑戦しました。田んぼのふちを泥で固めていく作業をとても丁寧に取り組むことができました。そして、いよいよ田植えの作業です。初めてやる子が多く、不安な様子も見られましたが、植え方の説明をよく聞き、やり方を学ぶことができました。最初は上手くいかず、苗が立たなかったり、まっすぐ植えることができなかったりしましたが、回数を重ねるごとに上手になっていきました。「まだまだやりたい。」という子供たちの感想もあり、お米作りに興味をさらにもつことができました。すべて手作業で汗を流しながら、共に助け合って行う昔ながらの田植えを体験することができ、充実した様子でした。

第６学年　武石移動教室

第６学年担任　中ノ目　和也

６月 26 日（月）から 28 日（水）までの３日間、武石移動教室に行きました。昨年度の下田移動教室での経験を生かし、より充実した移動教室になるよう、一人一人が係の仕事を担い、それぞれに準備をすすめてきました。

１日目の鷹山ファミリー牧場では、一人一人交代で手搾りによる乳搾り体験を行いました。牛に直接触れる体験はどの児童にも貴重な体験となりました。また、バーベキューも行い、食育についての知識も深めることができました。夜のキャンプファイヤーでは、大きな火を囲んで盛り上がり、仲間との絆をより深めることができました。

２日目は車山登山を行い、山頂から眺める街並みと、山頂からリフトで下山するときの景色はとてもきれいで、達成感がありました。黒耀石体験ミュージアムでは、黒耀石のキーホルダーづくりをしました。一人一人に黒耀石の剥片が配られ、それぞれが完成形の形を思い描きながら作業をすすめました。その後、お土産の購入に向かいました。家族や

親せき、友達などにお土産を選んでいました。

3日目には、お世話になったベルデ武石をあとにし、最後の訪問先である群馬県立自然史博物館に向かいました。博物館の中ではグループで行動し、事前に話し合った見学の予定に基づき、それぞれの班が班活動を行うことができました。

この移動教室中には、時間の使い方や友達との協力、各施設での過ごし方やマナーなど、多くのことを学ぶことができました。この経験をこれからの学校生活でも生かし、卒業という節目に向かってより成長していけるようにしていきたいと思います。

移動教室に際し、様々ご理解・ご協力くださり、本当にありがとうございました。

新体力テストを終えて

保健体育科　横沢　大喜

今年度の体力テストも、中学部の生徒たちの協力と、小学部の児童たちの一生懸命な取り組みによって大泉桜学園全体で実施することができました。中学部の生徒たちは、測定器具の準備や手順の確認、小学部の児童への説明など、スムーズな進行に欠かせない役割を果たすことができました。また、小学部の児童たちも様々な種目の体力テストに真剣に取り組むことができました。中学部の生徒の説明をしっかりと聞き、各項目で自己ベストを更新するために真摯に取り組めていたと思います。

体力テストを通じて、中学部の生徒と小学部の児童が協力し合うことで、より一層絆を深めることができたと思います。記録の向上を目指し、お互い励まし合いながら取り組むことで、自身の成長と努力の結果を実感できている様子も見ることができました。このような経験は、児童・生徒が健康への関心を高め、運動への取り組みを継続する励みになったと思います。我々教職員も運動会に続き、体育的行事の素晴らしさを改めて実感することができました。もうすぐ暑い夏が始まります。引き続き、熱中症の予防に十分配慮をし、健康の保持増進に向かって取り組む資質・能力を育てていきたいと思います。

道徳授業地区公開講座

進路学習部　只木　信嗣

6月5日（月）から6月10日（土）までの1週間を「命の教育ウィーク」と位置付け、様々な教育活動を通して、命の大切さについて児童生徒と共に考え学ぶことができました。最終日となる10日（土）には、全学年で「命」をテーマに道徳の授業を実施し、3時間目には石神井消防署から救急救命士の方をお招きし、「自分と人の命を守るために」というテーマで講演会を実施いたしました。

ご講演では、東日本大震災での体験を踏まえ、「救急救命の連鎖」、「心停止傷病者に対する応急手当実施率の状況」、「応急手当実施率の推移」、「心停止傷病者発生場所別の応急手当の実施状況」について解説して頂きました。東体育館でも同様に講座が開かれ、1～4 年生を対象に、東京消防庁が作成した防災教育ＶＲを動画で視聴し、地震を疑似体験することで命を守る行動について考えました。

講演後は、「災害用伝言ダイヤルはどのように周知されていて、どこで詳しい情報を得ることができますか。」「消防署ではどのくらいの時間働いているのですか。」「複数人で協力して救急救命に当たるとのことでしたが、周囲に人がいない場合はどうすれば良いのでしょうか。」「救急車の付添人がいない場合はどうなるのでしょうか。」と、児童生徒から活発に質問が出ました。

大泉桜学園では、「命の教育」を重視した教育が実施されています。今後も１年間を通して、各学年で「命」の大切さについて、考えていきます。

7月行事予定

諸事情により予定が変更する場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
2	3	4	5	6	7	8
	朝礼 安全指導		避難訓練	飯盒炊さん（567） 委員会活動	午前授業 セーフティ教室(34) 歯科指導(1)	土曜授業 イングリッシュキャンプ 保護者説明会(7)
9	10	11	12	13	14	15
	桜学朝会(全) 歯科指導(4)	盲導犬募金始 移動教室説明会(5)		盲導犬募金終 たてわり班遊び クラブ	5時間授業 歯科指導(6)	
16	17	18	19	20	21	22
	海の日	5時間授業	大掃除	終業式 給食終	夏季学習補充教室始 小学部夏季プール指導始 三者面談(789)始	
23	24	25	26	27	28	
				夏季学習補充教室終 小学部夏季プール指導終		
8/27	28	29	30	31	9/1	2
		7・8年登校日　9時～		リモート学活 8時40分～ （7・8年を除く）	始業式　4時間授業 給食始 安全指導	

教育相談場所	西校舎3階「相談室」	東校舎1階「あったまルーム」

☆中学部　スクールカウンセラー（上草）火曜日9：00～17：00　心のふれあい相談員（石井）月・木曜日8：30～15：30
☆小学部　スクールカウンセラー（中村）月曜日9：00～17：00　心のふれあい相談員（木村）火・木・金曜日9：00～14：00
相談予約は専用携帯へお願いします。小学部：080-7798-3201 中学部：080-7798-3336（5・6年生は中学部用でも可）